12月2日(火)薬物乱用防止教室

御船保健所　薬剤師　本田大輔先生

本田先生、御多用の中、資料準備と貴重なお話をありがとうございました。

薬剤師の本田です。
薬に関係する仕事をしています。

「病院で処方された薬や市販薬の適正な飲む量を変えたり、家族にあげたり、もらったりすれば乱用になること」「オーバードーズ（過剰摂取）の可能性がある死亡事故が報告されていること」「大麻、覚せい剤、麻薬の影響や持っているだけでも犯罪につながること」等のお話がありました。また、<u>薬物の乱用が脳にダメージを与える</u>ことによって<u>心身の異常が起きる</u>と、飲む量が増えたり、止められなくなる<u>依存の恐ろしさ</u>も伝えていただきました。生徒たちは、大麻がクッキーやグミ等の菓子に混入されていることを知り、ロールプレイで断り方を体験したり見たりして、本田先生が言われた<u>「大切な自分の脳を自分で守りましょう。」</u>を実感できたようです。最後に、誘われた時だけでなく、断りきれず手にしてしまった時も含めて、相談の大切さと相談先も教えていただきました。一人で悩まず、相談することは、とても大切です。

食べるとスカッとするよ！

こっちのお菓子もあるよ！

この人、しつこいなあ‥
警察に知らせるといいかなあ

いや・・いりません・・・！

オーバードーズ（過剰摂取）

・風邪薬や咳止めなどを大量・頻回に服用すること。

・薬物への耐性や依存により、自分ではやめられなくなる。

風邪薬や咳止め販売のルール（確認）

・子供が薬を買う場合、氏名・年齢は？

・他のお店で同じ薬を買っていないか？

・一人１つ（１包装）か？

これから さらに厳しくなります